

遠足の報告～2年生

所沢航空記念公園（5月14日）

抜けるような青空の下、朝から少し汗ばむくらいの陽気に、ワクワクしながら航空公園の遠足に出発しました。「もう2年生だから電車に乗って遠足に行けるんだよ！」という話を先生方から聞いた子どもたちは、車中のマナーにも気をつけ無事、航空公園に到着しました。

とにかく、朝から暑くて、航空公園駅から集合場所の広場につくまで「水飲みた～い。」「まだかな。」を連発する子どもたち…。果たして今回一番のお楽しみ、オリエンテーリングまでもつのでしょうか！？

記念撮影を終えて、木々が取り囲む爽やかな芝生の広場に集合し、オリエンテーリングがスタートしました。今回のオリエンテーリングは一公園内の4か所に先生方がそれぞれ待機し、やってきた子どもたちに指令を出し、それをクリアすると暗号を教えてもらえる—というものです。団のメンバー全員が揃っていないと自分勝手な行動は許されません。事前に学校で、団ごとに役割分担をしてきました。リーダー、時計係、地図係、そして、励まし係。そうして始まったオリエンテーリングは、24団、それぞれ4か所のチェックポイントへ回る順番を変えました。スタートすると、山下先生からもらった回る順番の書かれた紙と地図とをにらめっこして、団でわいわい、がやがや相談しながら一所懸命な子どもたちでした。



中村先生には、団全員がジャンケンで勝たなければなりません。4連勝したのは、わずかに1団。なかなか勝てずに作戦会議をしたり、あっち向いてホイを挑んでやっと暗号をもらえたりと汗をかきかき懸命に取り組みました。一方、角町先生には、校歌、つどいの歌、卒業式の歌、運動会の歌など学校に関わる歌を間違えずに歌うように言われた子どもたち。歌えそうで歌えなかったのが、運動会の歌。運動会からだいぶ経ってしまったからでしょうか…。そして、照井先生のところでは、クイズです。ただ答えるのではなく、答えが4文字だとしたら、一人一文字ずつ、自分の並ぶ場所に当てはまる字を想像して答えなければなりません。テレビのクイズ番組さながらに真剣に答えたはずが、「さんすう」と答えるところを「さいすく??？」…。また、久保先生のところでは、早口言葉に一人ずつチャレンジ。「生麦・生米・生卵」が、何度言っても「生グミ」になってしまう子も。となりで、「なまむぎ」とささやいてお友達を応援する姿が微笑ましかったです。そうこうして、各先生より2字ずつ暗号をもらい、目指すはゴール、山下先生。各先生からもらった暗号（2文字）を組み合わせると「たのしいえんそく」となります。山下先生を見つけ、はやる気持ちを抑えてそっと耳元でそっと暗号をささやく子どもたちの笑顔は、協力してやり遂げられた達成感でキラキラと輝いていました。

オリエンテーリングの後は、おうちの方が作ってくださったお弁当とお楽しみにしていたおやつタイム。おいしいお弁当を頬張り、お菓子交換をして、お腹も心も大満足でした。

食後のお楽しみは、クラス遊びの時間でした。子どもたちはもちろんですが、芝生の上を子どもに負けないくらい嬉しそうにはしゃいで駆け回っていたのは…そうです、照井先生でした。山下先生も、久保先生ももちろん子どもたちとたくさん遊んで楽しかったです。団で協力して活動する姿に、頼もしさも感じた遠足でした。

